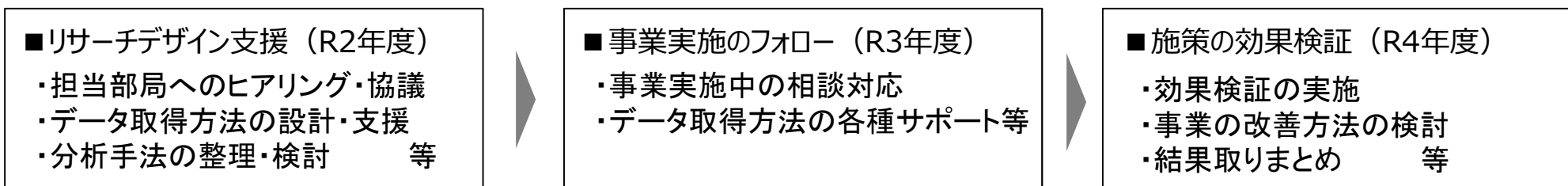


### 事業の位置づけ

- 重点フォローアップ事業(15事業)のうち1～3事業を「効果検証対象事業」とする。事業の研究デザイン支援(今年度)や事業実施に伴うデータの蓄積(R3年度)を行った上で、R4年度に効果検証の実施を図る。
- なお、「効果検証対象事業」はR4年度の行政事業レビュー「公開プロセス」の対象候補となる予定である。



### 事業選定方針

- 上記位置付けを鑑み、以下の方針で対象事業を選定する。
  - 「効果検証」に係る模範事例となり得ることから、①データの活用可能性に加え、②事業の展開可能性も鑑みて選定する。
  - リサーチデザイン実施には、③担当部局のヒアリング結果も加味し事業を決定する。

#### ①データの活用可能性

- ✓公的統計や事業で取得する情報など、分析に必要なデータが利用可能か
- ✓エビデンスレベルの高い分析手法を活用できるか

#### ②事業の展開可能性

- ✓効果検証で得た分析結果が事業の改善改良に寄与するか
- ✓省内の他領域にも参照される事業特性を有しているか



#### ③担当部局のヒアリング結果

- ✓データの共有や分析結果の公開に大きな障壁がないか



効果検証  
対象事業  
決定  
(1～3事業)